

産経新聞 24.2.12

## 天皇陛下、18日に心臓バイパス手術をお受けに 狭窄がやや進行

宮内庁は12日、天皇陛下が11日に東京大学医学部附属病院（東京都文京区）で受けた心臓の冠動脈造影検査の結果、昨年見つけた冠動脈の狭窄きょうさくに進行が見られたため、今月18日に同病院で心臓のバイパス手術を受けられると発表した。

宮内庁によると、陛下は11日午前11時25分から30分間、左手首からカテーテル（細い管）を挿入して冠動脈の血流などを調べる検査を受けられた。

その結果、1年前に同様の検査で見つかった狭窄がやや進行しており、専門医が協議した結果、生活のさらなる向上のため、バイパス手術が適切だと判断したという。天皇、皇后両陛下も了承された。

手術は東大と順天堂大の合同チームが実施。病変は2カ所あるため、2本の冠動脈にバイパス手術を行うという。

宮内庁の金沢一郎医務主管は「手術例が多く、万全な態勢で臨めば、それほど心配な手術ではない。テニスなどのご運動を行うことも可能になる」と説明した。